



今月のイチオシ化石紹介

Mesopuzosia yubarensis

この *Mesopuzosia yubarensis* は、体験発掘露頭の整備作業中に大森ほか (2023)の Unit 4 基底部から産出した。表紙は雌型であるが、縫合線が綺麗に残っている。雌型化石の上に見えるのは、別の *Mesopuzosia* である。図 1 では断面方向からこの 2 体を写している。2 体の *Mesopuzosia* が産出した様子は地層の堆積構造を反映しており、それぞれが当時の海底面上に底置されたために、上の個体が下の個体に覆いかぶさるように堆積している。

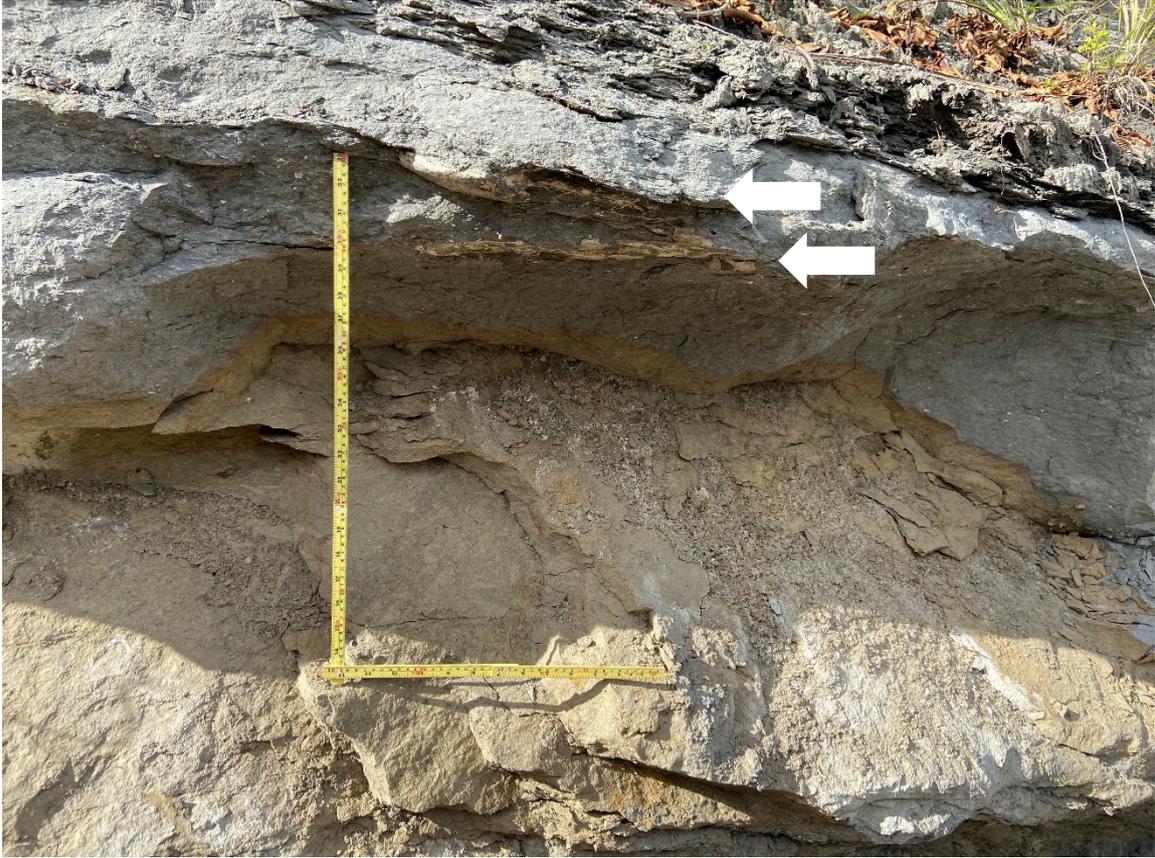


図 1. *Mesopuzosia yubarensis* の産出状況. 白矢印で示したものが産出した *Mesopuzosia*. 折尺は縦 60 cm, 横 40 cm.

(参考文献)

大森光・安藤寿男・村宮悠介・歌川史哲・隈隆成・吉田英一, 2023. 双葉層群足沢層（上部白亜系コニアシアン階）浅海性細粒砂岩の大型アンモナイト密集層と巨大炭酸塩コンクリーション濃集層. 地質学雑誌, 129 (1): 105-124.

7～9月の行事報告

- ・体験発掘
開催回数：45回
- ・特別体験発掘
開催回数：16回
- ・親子自然探訪教室（第1回～第3回）
開催回数：2回 第3回は中止
第1回「昆虫採集に出かけよう！」
第2回「不思議なキノコを探しにいこう！」
第3回「秋の星座を見つけよう！」
「昆虫採集に出かけよう！」では、海竜の里センターに出かけて昆虫を探しました。採

集後は、海竜の里センターの建物をお借りしてどのような種類の昆虫が採集できたのかを、参加者全員で確認しました (写真 1 左)。「不思議なキノコを探しにいこう！」では、アンモナイトセンター近くの三森山まで出掛けて林道わきの雑木林を散策しながらキノコを探しました。採集後はセンターの研修室で、採れたキノコの種類を確認しました (写真 1 右)。



写真 1. 左) 採集した昆虫を参加者全員で確認している様子. 右) 採集したキノコの種類を確認している様子.

11 月の行事予定

- ・ 体験発掘 (毎週土・日曜日, 10 時～11 時 30 分, 13 時 30 分～15 時, 但し, 雨天中止)
 上限 200 人で開催します.
- ・ 第 4 回親子自然探訪教室「陶芸に挑戦しよう！」
 11 月 3 日 10 時～13 時

お知らせ (重要！)

Notice!! Notice!!

体験発掘に参加される際は運動靴または長靴の着用をお願い致します。サンダル(クロックス含む) や踵の高い靴での体験発掘場への入場は安全確保のため、お断りしております。
皆さまのご理解とご協力をお願い致します。



いわき市アンモナイトセンター (Iwaki City Ammonite Center)
〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2
TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468
URL : <http://www.ammonite-center.jp>
E-mail : info@ammonite-center.jp